

# 公共経済学から見る港湾行政の役割

港湾懇談会(第4回)  
資料2 赤井委員

## 理論的な役割

1. 市場の失敗の改善:外部性の内部化、情報の非対称性の解消
2. 政府の失敗の改善:ガバナンス確保による規律付け、規制緩和、民のノウハウの吸収

2012年10月4日  
港湾懇談会(第4回)提出資料  
大阪大学教授  
赤井伸郎

## 目指すべき3つの視点

- 1:財政負担をする国民・住民の視点:見える港湾行政
- 2:港湾統治の仕組みの改革
- 3:地域を元気にする港湾

## 具体的施策

1

### ★住民への説明責任

=> 徹底した情報公開、財務諸表の作成、資産管理・維持コストの一覧性、将来維持コストの明示



2

### ★効率的・効果的な運営システム

=> 各自治体による港湾管理から地域連携による港湾管理へ(例:道州レベル)  
民の視点を取り入れた港湾運営会社制度を活用した港湾運営



3

### ★クルーズ船誘致による地域活性化と効率的なプロモーションチームの結成(港湾連携、情報共有)

=> 全国クルーズ活性化会議=>アジア(中国)の成長による大型クルーズ客船の寄港拡大